

ひとつづくり 2030

～SDGs 達成に向けた人材育成について学び・考え・行動する～

国連は 2015 年の「持続可能な開発サミット」で、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を定めました。これは 2030 年を目前に、17 の目標と 169 のターゲットを定め、「誰も置き去りにしない (no one will be left behind)」を基本理念に、世界に向けてその達成を呼びかけています。

では 2030 年に向けて、私たちはどんな取組をすれば良いのでしょうか? 「持続可能な開発のための教育」(ESD) は、そうした世界から地域まで多様に存在する社会の課題を、そのつながりとともに理解し、解決に取り組む人を育む教育・学習です。文部科学省と環境省は全国 8ヶ所に「地方 ESD 活動支援センター」を設置。2017 年 7 月に関東地方 ESD 活動支援センターが設立されました。センターは学校教育・社会教育の双方で ESD を推進・支援していきます。

私たちの暮らす社会の未来を支える学びの場をいかに創り出すのか、そこにはどのような可能性があるのか、各分野のキーパーソンをお招きし、参加者のみなさまと一緒に、行動する方法を学び、考えます。

4 質の高い教育を
みんなに



2018 年

3 月 4 日(日)

12:30～16:30

東京ウィメンズプラザ

ホール・視聴覚室

(東京都渋谷区神宮前 5 丁目 53-67)

- ・対象：SDGs、ESD にご関心のある教育、NPO、行政、企業の方など
- ・定員：100 名 (無料・要申込)

【お問い合わせ先】

関東地方 ESD 活動支援センター 担当：伊藤、島田
 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67 コスモス青山 B 1 F
 TEL：03-6427-7975 FAX：03-6427-7976
 kanto@kanto-esdcenter.jp <http://kanto.esdcenter.jp>



基調講演

「国際動向における SDGs と ESD」(仮)
 東京大学大学院教育学研究科
 北村友人 准教授

グローバル化時代における教育のあり方について、政治・経済・社会などとの関わりのなかから理論的および実証的に明らかにすることを目指しています。アジアの途上国を主なフィールドとした学校教育の充実に関する研究、ESD に関する研究、高等教育の国際化と国際協力に関する研究などに取り組んでいます。これらの研究を通して、教育の公共性とは何であるのかという問題について、深く考えていきたいと思っています。(プロフィールより)



2030 年に向けて
 世界が合意した
 「持続可能な開発目標」です

主催



関東地方 ESD 活動支援センター
 Education for Sustainable Development



関東地方環境事務所

■プログラム

12:30	挨拶	<環境省関東地方環境事務所> <関東地方 ESD 活動支援センター 企画運営委員長/都留文科大学社会学科 高田研教授>
12:40	趣旨説明	関東地方 ESD 活動支援センター
12:50	講演	「国際動向における SDGs と ESD」 (仮) <東京大学大学院教育学研究科 北村友人准教授>
13:20	事例紹介	①学校での「ひとづくり」 大塚明氏 (元天城中学校校長、ESD-J 理事) ②地域での「ひとづくり」 加藤正幸氏 (チャウス自然体験学校 代表) <地域 ESD 活動推進拠点> ③国際・地域を両立する「ひとづくり」 (NPO 法人自然塾寺子屋・JICA 東京)
14:05	分科会	事例紹介①～③を、さらに深く掘り下げるワークショップを実施。
16:00	全体報告	分科会での議論を全体で共有します。
16:30	終了	

※17:00～19:00 近隣会場にて、懇親会を実施 (参加費: 500 円)

■事例について

①学校での「ひとづくり」

静岡県の伊豆市立天城中学校では、卒業後は首都圏で働きたいと希望し、地域に誇りを持ってない生徒が多いという課題を抱えていた。当時の大塚校長は、そうした教育課題解決を模索する中 ESD に出会い、2009 年より学校全体で ESD に取り組み始める。

地域で活動する大人などから、地域の良さ、課題を聞く学習をはじめたところ、「地域のために頑張りたい」と考える生徒が増えた。ジオパークの学習とも連携して、「持続可能な社会の担い手を育てる」という、明確な目標を掲げた取組は、歴代の校長に受け継がれ、今も継続して実施されている。

②地域での「ひとづくり」

群馬県桐生市を流れる渡良瀬川は、鮭の遡上があるにも関わらず、そうした地域の豊かさに多くの市民は認識していなかった。そこで、地元漁協と協力して、鮭を卵から孵化させ、2ヶ月ほど家庭で仔魚に育て、放流するプログラムを実施した。この取組を通じ、生物多様性、食育、ゴミ、命など、多くの事を学ぶことができ、地域の自然を知り、守る人材の育成を実施している。

実施団体のチャウス自然体験学校は、幼児・児童への自然体験を提供するプログラムを実施。自然学校のプログラムに SDGs の要素を取り入れ、地域の自然を守る「ひとづくり」を捉えなおしている。

③国際・地域を両立する「ひとづくり」

JICA の青年海外協力隊の経験者が帰国後、海外での地域づくりの経験を国内でも生かしたいと、群馬県甘楽地域を拠点に、「農村から日本と世界を元気に！」をテーマに NPO 法人自然塾寺子屋を設立。海外からの研修生を地元の農家で受け入れ、青年海外協力隊の派遣前研修も実施。地域の智慧から学ぶ農業研修やアグリツーリズムを実施し、年間百数人の関係人口を生み出し、I ターンのコーディネートや地域活性化を行っている。「平成 28 年度ふるさとづくり大賞」総務大臣賞受賞。

JICA 東京とも連携しながら、国内・海外で地域づくりを行う人材育成を実施している。



SDGs とは、国連が 2015 年に採択した「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

■お申込先 web : <http://kanto.esdcenter.jp> FAX : 03-6427-7976

お名前(フリガナ)		メール	
団体名			
ご希望の分科会	<input type="checkbox"/> ①学校での「ひとづくり」 <input type="checkbox"/> ②地域での「ひとづくり」 <input type="checkbox"/> ③国際・地域を両立する「ひとづくり」		
懇親会の御参加	参加する (参加費 500 円) ・ 参加しない		
関心のあるテーマ・話題にしたいこと			
このイベントをどこでお知りになりましたか	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> web サイト <input type="checkbox"/> メールニュース (関東 ESD センター、GEOC) <input type="checkbox"/> 知人から <input type="checkbox"/> その他 ()		
メルマガ配信	関東地方 ESD 活動支援センターからのメールニュースを 希望します ・ 希望しません		